

「歯科インプラント治療前後の咬合力の変化」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2012年9月以降に当院歯科口腔外科で欠損歯に対して歯科インプラントの手術を受けた方へ

2. 研究の目的

歯を失った場合、歯科インプラント治療は機能的かつ審美的に有用な方法の一つとして確立されています。その背景には、咀嚼機能を客観的に評価した研究が継続された歴史があります。

技術の進歩に伴い、インプラントの種類も増え、欠損や顎骨の状態が多様性に富んできておりますが、その多様性に対し評価を行っている研究は少ない現状です。当院でも様々な症例に対し、多種多様なインプラント治療を行っており、その特性を活かし研究を行っております。

本研究では、咀嚼機能の一つとして咬合力に影響する因子を探し出すことが目的となります。

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日；2024年1月1日

4. 研究の方法

この研究は、インプラント治療の一環として行われるCT撮影やX線撮影の画像、咬合力測定の結果を用いて行う研究です。

顎骨形態や骨質、欠損状態に加え、インプラントの種類や被せ物との装着方法や素材等のデータを加え、統計解析を行います。

5. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2030年3月31日

6. 研究に用いる情報の項目

情報：年齢、生年月日、身長、体重、病歴、治療歴、合併症等の発生状況、既往歴、歯式、常用薬、嗜好品、カルテ番号、CT画像、エックス線写真、咬合力 等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

この研究は以下の責任者のもとで実施します。試料・情報の利用者は歯科口腔外科学講座の研究者のみです。

【研究責任者】

9. 情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

11. 利益相反（企業との利害関係）について

この研究は、歯科口腔外科講座の奨学寄附金を用いて実施します。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

12. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部歯科口腔外科学講座 講師 諸井明德

メールアドレス：amoroi@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-8210